

三菱地所グループは、ステークホルダーとの良好なコミュニケーションのため、積極的で適時・適切な情報開示を進めています。

迅速・正確かつ公平な 情報開示をめざして

三菱地所(株)では、社内規則として定めた「情報開示規則」に基づき、「有価証券上場規程」において適時開示が求められる情報などを東京証券取引所の「TDネットシステム」などを通じて公開するほか、株主・投資家の皆さまの視点に立った迅速・正確かつ公平な情報開示に努めています。

株主・投資家、 アナリストと経営トップとの対話

三菱地所(株)の広報部内には専任部署であるIR室を設置し、

- 適時・適切な情報開示
- 経営戦略の伝達
- 資本市場の声のフィードバック

をミッションとして、株主・投資家、アナリストの皆さまだけでなく、お客さまやマスコミに向けても公平・公正な情報提供を行っています。

主なIR活動としては、ホームページでの「IR情報」提供、年2回の決算説明会、アナリスト向けスモールミーティング、物件見学会に加えて、国内外機関投資家との

ミーティングを積極的に実施しており、2009年度は約400件のミーティングを行いました。この内、決算説明会やアナリスト向けスモールミーティングには経営トップも積極的に参加し、株主や投資家の皆さまと直接対話を行って、皆さまの声を経営に活かしています。

2009年4月には、ホームページのIR情報ページにIR関連の最新ニュースがすぐに把握、閲覧できる機能を新設するなどの投資家の視点を重視したリニューアルを行い、さらなる利便性の向上を図りました。また、随時、証券取引所や証券会社が主催・開催するセミナーに参加する形で、個人投資家向けの企業説明会も実施するなど、幅広い投資家層を意識したわかりやすい情報開示にも努めています。

さらに、外国人投資家の皆さまとのコミュニケーションをより一層推進するために、英文でのIR情報の発信やファクトブックの充実を継続して図っています。



決算説明会

第14回 IR優良企業賞を受賞

2009年11月、三菱地所(株)は、日本IR協議会が選定する「第14回IR優良企業賞(2009年度)」を初めて受賞しました。「IR優良企業賞」はIR活動に積極的に取り組み、市場関係者から高い支持を得ている企業を表彰するものです。社長が決算説明会や定期的なミーティングに出席し、実質的に討議に参加しているなど、経営陣のIR姿勢などが高く評価されました。



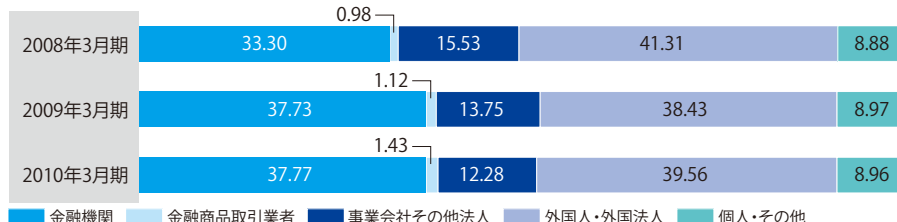
IR関連ツール

- 会社案内
- アニュアルレポート (英文)
- 決算短信 (四半期ごと)
- 有価証券報告書・四半期報告書
- 内部統制報告書
- CSR報告書
- 「株主の皆さまへ」(年2回)
- コーポレート・ガバナンスに関する報告書
- ファクトブック
- 三菱地所(株)ホームページ「IR情報」
<http://www.mec.co.jp/j/investor/index.html>
- その他
四半期情報を三菱地所(株)ホームページで開示
投資家の声をフィードバックする社内向け「IR室レポート」を発行

■株式の状況(2010年3月31日現在)

発行可能株式総数	1,980,000,000株
発行済株式総数	1,390,397,097株(前年度末比7,878,746株増)
株主総数	79,533名(前年度末比11,051名増)

■所有者別株式分布状況(株式数構成比率)



「DJSI」に10年連続して選定

2009年9月、三菱地所(株)は、Dow Jones Sustainability Index (DJSI)に10年連続して選定されました。



FTSE4Good

「FTSE4Good Global Index」に 9年連続して選定

2010年3月、三菱地所(株)は、英国FTSE社から、FTSE4Good Global Indexの構成銘柄として9年連続して選定されました。